



青き地球を懂れて

入学・進級おめでとうございます

春は別れと出会いの季節。卒業生87名が本校を巣立ち、本日新たに92名の新入生を迎えました。新入生の保護者の皆様、また在校生の保護者の皆様には、心から入学・進級をお祝い申し上げます。

さて、令和7年度当初の人事異動により、飯嶋校長先生をはじめとする8名の教職員が転退職され、新たに13名が赴任いたしました。私は4月1日に本校第13代校長として着任いたしました伊藤 浩二（いとう こうじ）と申します。これまで東金子中学校が培ってきた良き伝統、良き校風を継承しつつ、さらに一步前進できるよう、教職員一丸となって教育活動に取り組む所存です。本年度も引き続き、本校教育活動への温かいご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

新入生を迎えて（入学式 学校長式辞より一部抜粋）

いよいよ今日から中学校3年間、約1,000日間の自分づくりの旅が始まります。今、新入生の皆さんは、どのような気持ちですか。きっと、皆さんの心の中は、希望と期待、そして少しの不安もあることでしょう。でもそれは皆さんの周りに座っている同級生も同じです。今日から新しいスタートラインに立ったのです。人間は、本気になれば一步一步確実に成長し、前進していくものです。古い自分に別れを告げて、新しい環境で、新しい仲間や先生と一緒に、「新しい自分」を創っていきましょう。今までは、ちょっと弱虫だった人も、引っ込み思案だった人も、あるいはちょっとわがままだった人も、今日からは、新しい自分づくりのためのかけがえのない仲間です。

ここで、新しい自分づくりに挑戦する皆さんの心に留めておいて欲しい言葉を二つお話します。一つ目は、「たった一度の中学時代」という言葉です。例えどんなに科学が進歩しようとも、人生を二度繰り返すことはできません。しかも、13歳から15歳の年代は、心身共に大きく成長する時期です。東金子中学校での三年間で、自分で考えて行動し、責任を持ち、他の人たちと助け合いながら生きていく「自ら立つ、自立」の力を身に付けるために、自分自身の感情と行動をコントロールし、自分自身を大切にできる「自らを律する、自律」の力を身に付けていってください。

二つ目は、「たった一人の自分」という言葉です。人間の歴史が何年続こうが、地球上に今、80億人いようとも、自分は自分一人しかいません。先ず自分自身の身体を、個性を、生き方を大切にしてください。という事は、皆さんの隣や周りにいる人も、同じように大切な一人一人です。それぞれのかけがえのない人生を生きているということです。そういう人たちが大勢集まって生活するのが「学校」です。一人一人を大切にするために、他の人を思いやり、助け合って、皆さん一人一人が伸びていけるような学校生活を送ってください。

終わりに、アメリカの詩人ウィルコックスの「人生の嵐」という詩を贈ります。「吹いている風が全く同じでも、ある船は東へ行き、ある船は西へ行く。進路を決めるのは風ではない。帆の向きである。人生の航海でその行く先を決めるのは、風でもなければ、嵐でもない。魂の構えである。」ぜひ、東金子中に吹いている素晴らしい風をとらえて、価値ある人生の基盤をつくって欲しいと心から願っています。

【4月の主な予定】

★ 学校諸経費引落日：今月は引き落としはありません★

☆ スクールカウンセラー勤務日：15日（火）、22日（火）☆

10（木）	給食開始	16（水）	3年・全国学力学習状況調査
11（金）	新入生オリエンテーション 地区数学テスト	18（金）	保護者会・学級懇談会
14（月）	発育測定・各種検診開始	28（月）	部活動本入部

どうぞよろしくお願いします。

